【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年2月2日(2024.2.2)

【公開番号】特開2023-163548(P2023-163548A)
【公開日】令和5年11月10日(2023.11.10)
【年通号数】公開公報(特許)2023-212
【出願番号】特願2022-74517(P2022-74517)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月25日(2024.1.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技者に有利な特別遊技の進行を制御可能な主制御手段と、前記主制御手段からの信号に応じた演出を制御する演出制御手段と、を備えた遊技機であって、
前記主制御手段は、
始動条件の成立に基づいて判定情報を保留記憶として記憶可能であり、
前記演出制御手段は、
前記判定情報に基づいて、表示手段において演出図柄が第１変動経路で変動する変動演出を行う第１モードと、
前記判定情報に基づいて、前記表示手段において前記演出図柄が前記第１変動経路と異なる第２変動経路で変動する変動演出を行う第２モードと、に制御可能であり、
前記第１変動経路の変動演出であっても前記第２変動経路の変動演出であっても、前記演出図柄が停止されることを示唆する変動停止示唆期間に、特定音を出力する特定音演出を実行可能であり、
前記第１変動経路の変動演出の場合と、前記第２変動経路の変動演出の場合とで、異なる態様の前記特定音演出を実行可能であり、
前記演出図柄には、第１図柄と、前記第１図柄とは異なる第２図柄と、があり、
前記第１変動経路の変動演出において前記第１図柄が停止されることを示唆する前記変動停止示唆期間に出力する前記特定音と、前記第２変動経路の変動演出において前記第２図柄が停止されることを示唆する前記変動停止示唆期間に出力する前記特定音と、を異ならせることが可能であることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
［適用例１］
本開示に係る遊技機は、遊技者に有利な特別遊技の進行を制御可能な主制御手段（主制御部１１０ｍ）と、前記主制御手段（主制御部１１０ｍ）からの信号に応じた演出を制御

する演出制御手段（演出制御部１３０ｍ）と、を備えた遊技機であって、前記主制御手段（主制御部１１０ｍ）は、始動条件の成立に基づいて判定情報を保留記憶として記憶可能であり、前記演出制御手段（演出制御部１３０ｍ）は、前記判定情報に基づいて、表示手段（第１画像表示装置７０、第２画像表示装置７１）において演出図柄（７０ａ）が第１変動経路（例えば縦スクロール）で変動する変動演出を行う第１モードと、前記判定情報に基づいて、前記表示手段（第１画像表示装置７０、第２画像表示装置７１）において前記演出図柄（７０ａ）が前記第１変動経路（例えば縦スクロール）と異なる第２変動経路（例えば円環状スクロール）で変動する変動演出を行う第２モードと、に制御可能であり、前記第１変動経路（例えば縦スクロール）の変動演出であっても前記第２変動経路（例えば円環状スクロール）の変動演出であっても、前記演出図柄（７０ａ）が停止されることを示唆する変動停止示唆期間に、特定音（例えば停止音）を出力する特定音演出を実行可能であり、前記第１変動経路（例えば縦スクロール）の変動演出の場合と、前記第２変動経路（例えば円環状スクロール）の変動演出の場合とで、異なる態様（内容や実行タイミングや実行期間などが異なる）の前記特定音演出を実行可能であり、前記演出図柄には、第１図柄（通常図柄）と、前記第１図柄とは異なる第２図柄（擬似連図柄や発展示唆図柄などの特異図柄）と、があり、前記第１変動経路の変動演出において前記第１図柄が停止されることを示唆する前記変動停止示唆期間に出力する前記特定音と、前記第２変動経路の変動演出において前記第２図柄が停止されることを示唆する前記変動停止示唆期間に出力する前記特定音と、を異ならせることが可能であることを特徴とする。